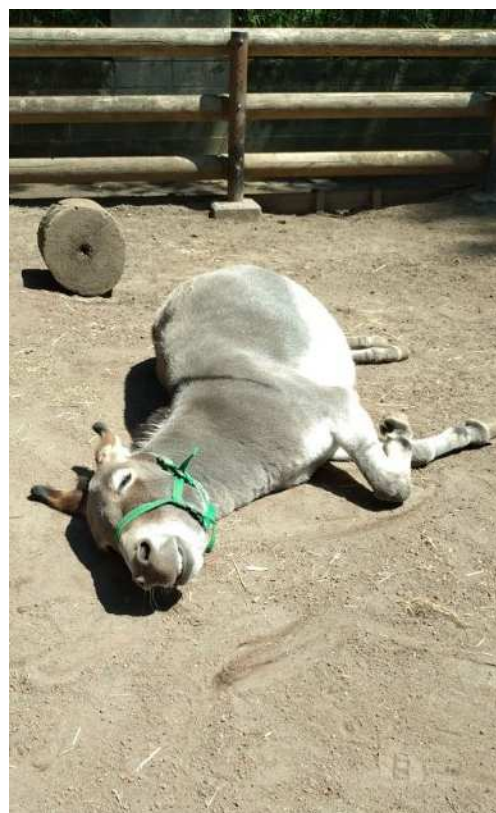




最近の動物公園

今年も猛暑で、職員も動物たちも参り気味です。アルミ製のひんやりマットやミストシャワー、ホースによる放水、扇風機、寒冷紗やタープによる日陰などでしのいでもらう一方、動物種によっては展示を休止したり屋外に出さなかったりする場合がありますのでご了承ください。



秋の動物園まつりのお知らせ

秋の動物園まつり開催のお知らせです。

- ★日時 令和8年11月3日(火・祝) 午前10時から午後3時まで
- ★内容 キーパーズトーク、バックヤードツアー(抽選制)、コンサートコーナー、竹細工コーナー、動物クイズラリー、野生動物保護に関するコーナー、飲食コーナー等
- ★荒天中止。天候・動物の健康状態などにより、内容が変更となることがあります。
- ★当日は駐車場の利用はできません。公共交通機関をご利用ください。
- ★その他、詳しくはXやホームページ、市政だより等をご覧ください。



＊公式 Twitter(X)はこちらから→



＊公式 Facebookはこちらから→



★ピックアップ動物★

シセンレッサーパンダ

哺乳綱 ネコ目 レッサーパンダ科



レッサーパンダはレッドパンダとも呼ばれ、主にネパールに生息するネパールレッサーパンダ（ニシレッサーパンダ）と、中国・ミャンマー等に生息するシセンレッサーパンダ（ヒガシレッサーパンダ）に分けられ、夢見ヶ崎動物公園を含む日本の多くの動物園ではシセンレッサーパンダを飼育しています。

野生では食べるもののほとんどが竹なのですが、当園で飼育しているアンとファファは高齢になり歯が悪く、竹の葉を食いちぎれなくなってきたので、竹の葉をミキサーやミルで粉碎し、リンゴと混ぜた特製竹ペーストを食べさせています。また、アンは目が悪くなり、ほとんど視力が無くなってしまったため、グラウンドの出入り等、動きがこれまで以上に慎重になってきましたが、マイペースに元気に過ごしています。

2頭の間にできた子どもはこれまでに4頭。そのうちの1頭であるケイコももう11歳になりますが、子どもの頃からのあどけない顔つきは今も変わりません。

今年の9月23日に国際レッドパンダデーにちなんだイベントを行います。彼らを取り巻く環境や体の仕組みなどについて、普段よりちょっとだけ深く考えていただくきっかけになればと思います。

獣医の日記

ホンドタヌキのげんまいの入院治療について、エックスで時々発信しており、ゆめみにゅーすでも特集したばかりだったのですが、5月からまた入院しています。

高齢のため展示への復帰は慎重に考えているのですが、体調は落ち着き、食欲も旺盛で、朝一番に入院室に巡回に行くと元気よく「くぅ～ん！！」と雄叫びのような甘え声を出します。

以前は薬を柔らかくゆでたさつまいもに仕込むと気付かず食べてくれていたのですが、ある日から急に薬だけ食べなくなってしまいました。投薬期間が長くなり、味やにおいの違和感に我慢ならなくなったのか、薬の入ったいもだけきれいに残したり、食べたと思ったら薬の入った部分をポロっとこぼしたり。薬入りのいもを別の皿に入れておくと、それだけでバレている様子でした。仕込み方も仕込む餌も薬も変え、気付いているのかいないのかわかりませんが、ようやくまた安定して薬を食べてくれるようになりました。巷ではタヌキの鈍臭さが話題になった時期もあるようですが、夢見ではちゃんと人間と知恵比べしています。

げんまいの様子についてはエックス等でもお知らせしていきます。また元気な姿をお見せできることを我々も願っています。

★動物たちの主な移動(令和8年5月1日～令和8年7月31日)★

マーコール(♂2♀3繁殖、♂2死亡)、ホンシュウジカ(♂1♀2繁殖、♀1死亡)、ミドリコンゴウインコ(♀1搬入←伊豆シャボテン公園から)、オグロプレーリードッグ(♂2搬入←三島市立公園楽寿園から)